

教育
重点施策

- いのちと人権を守る教育の充実
- 確かな学力の育成
- 「あったか あいさつ運動」の推進
- ふるさと教育の推進
- 子育て支援の充実
- NEW 統合中学校の開校に向けた取組の推進



「なにか いるかな？」 子育てふれあいセンター出張ひろば 中区東安田 いぶきの森で

◇令和4年度 教育方針について◇

令和の始まりとともに、新型コロナウイルス感染症の波が次々と全世界を襲っています。コロナ禍の中で様々な制限とともにある暮らしは、大人はもちろん子どもたちにも大きなストレスを与えています。また、ICT技術の進展は人々の生活を大きく変えています。このように、**予測が難しく変化の大きな時代**を生きる子どもたちには、様々な課題に出会っても**あきらめることなく、周りの人と力を合わせながら、より良い解決策を見つけようとする力が必要**となります。小中学校の学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」は、まさにこういった力を育てていくことが強く意識されています。

そこで、多可町教育委員会では**教育行政を進めるに当たり3つのことを大切に**します。

1つ目は、地域とともにある組織づくりを大切にします。多可町では年々少子高齢化が進み、その影響は町全体に及んでいます。学校園や関係施設などもその例外ではありません。現在、小学校で進めているコミュニティ・スクールの取組は、学校と地域の皆さんがともに力を合わせ、教育や地域の課題を解決していくために有効な手立ての一つであると考えています。組織の情報を共有し、地域とともにある組織を皆さんとつくっていきます。

2つ目は、マーケティングを大切にします。子どもたちや教職員、保護者、利用者の願いを適切にくみ取り、グローバルな視点で持続可能な教育行政を行っていきます。そのためには現状の取組を分析するためのアンケート調査など、広く現場の声を集める仕組みを大切にします。そして、その収集したデータや分析結果を取組の改善に確実につなげていきます。

3つ目は、一人ひとりの職員の能力を最大限に活かすことを大切にします。「教育は人なり」と言われます。目標を達成するためには現場の最前線に立つ職員が働きやすい環境のもと、自分の持てる力を発揮することが大切です。勤務時間の適正化に取り組むとともに、風通しの良い職場をつくり、個人と組織の持つ良さを発揮できるよう努めてまいります。

さて、令和2年度から始まった「多可町地域の学校教育のあり方を考える会」の協議を受けた答申を令和4年1月に頂戴しました。この答申には子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆さん、地域の皆さん、学校関係者の皆さんの教育にける願いが詰め込まれています。この願いをしっかりと受け止め、施策に反映していかねばなりません。そこで、**今年度の重点施策には、従来から大切にしてきました5つに「統合中学校開校準備委員会」の展開を新たに**加えています。

子どもたちが多可町で学び、育ったことに誇りを持ち、保護者や地域の皆さんが多可町で子育てして良かった、多可町に住んで良かったと実感していただけるよう学校園、家庭、地域の皆さんと一丸となって進めてまいります。

子育て・子育て環境・家庭教育の充実

幼児教育の充実

(SDGsの目標 4、5、10、15、16)

- ・認定こども園から小学校へ円滑な接続のための、多可町教育保育共通カリキュラム(0歳~5歳児)、幼小合同研修、5歳児交流活動の実施



学童保育・児童館事業

(SDGsの目標 3、4、8、9、11、15)

学童保育

- ・町内の小学1年生~6年生について、定員の範囲内で希望者の受け入れ
- ・支援員や補助員の研修の実施

児童館

- ・教室・講座のQRコードを活用した申込みの実施
- ・木育注1を採り入れた体験教室「なつチャレ」などでこころ豊かでたくましい子の育成

注1: 木育とは「子どもをはじめとするすべての人びとが、木とふれあい、木に学び、木と生きる」ことを学ぶ教育



子育て支援

(SDGsの目標 1、3、4、8、11)

NEW

- ・認定こども園通園バスの自園運行にかかる費用補助

NEW

- ・「多可子どもタイムズ」やWEB版こどもカレンダーでの子育て情報の共有化、SNSを活用した情報発信、子育て支援パンフレットの配布
- ・満1.2歳の子どもを日中在宅等で育児されている方に、月額10,000円を支給



31

使ってみませんか？

従来のこどもカレンダーに代わり、
Googleカレンダーを使った
web版こどもカレンダーを導入します！

画面内のボタン  Googleカレンダーで
ご自身のカレンダーに追加し、スマホ等でご利用ください！

下記QRコードで
ご覧ください



安心して暮らせる地域・家庭づくり

(SDGsの目標 3、4、10、11、16)

NEW

- ・妊娠期から出産後概ね1年の間に、家事や育児を行うことが困難な家庭にヘルパーを派遣する「ベビサポ」を開始

NEW

- ・教職員等を対象に研修や啓発を行い、ヤングケアラーへの理解を深め、学校や関係機関等と連携して、ヤングケアラーの早期発見と適切な支援につなげる体制づくりの推進
- ・毎月第3日曜日の「家庭の日」に、企画事業を行い、家庭の教育力の向上を支援



学校教育の充実

確かな学力の育成

(SDGsの目標 4、10)

- NEW** 学校図書館の充実を図るために、学校図書館アドバイザーを各小中学校に派遣
- ・ノーメディアデーの取組推進
- 拡充** タブレットドリル等の導入による個別最適化された学びの推進
- ・すべての小学校に学習支援員を配置し、学力向上に向けた授業支援



豊かな心の育成

(SDGsの目標 3、5、10、11、13、15)

- NEW** 人権を守ることの重要性やいじめの法律上の扱い等について、兵庫県弁護士会との協定に基づき各校にスクールロイヤーの派遣や弁護士の助言を受けたいじめ予防授業の実施
- ・「あったかあいさつ運動」の推進
- ・自己肯定感を高め、他者への理解や思いやりを育み、いのちの尊さを実感させる「いのちと人権を守る教育」への取組
- ・日常生活におけるストレスや心身への影響について自分でチェックし、対処方法などを学ぶ「多可町心の健康教育」の取組
- ・人権教育コア・カリキュラムによる学習の推進

健やかな体の育成

(SDGsの目標 2、3)

- NEW** 縄跳び運動を中心とした「たかチャレンジ！」の取組の試行
- ・コロナ禍を乗り越える新たな生活スタイルの実施
- ・地元食材を使用した「多可町っ子いきいき献立」の提供



特別支援教育の充実

(SDGsの目標 3、10)

- ・特別支援コーディネーターを中心にしたニーズに応じた合理的配慮等の組織的な取組
- ・特別な支援を要する子どもに対して、スクールアシスタントや生活補助員の配置、学校生活支援教員による通級指導の実施

体験教育の推進

(SDGsの目標 3、4、8、9、10、14、15、17)

- ・自立心、規範意識、ふるさとへの愛着心や共に生きる心を育むための体験学習
- ・木育を採り入れた「環境体験学習（小学3年）」
- ・「わくわくベルディー（小学4年）」
- ・「自然学校（小学5年）」
- ・「トライやる・ウィーク（中学2年）」



教職員の資質と指導力の向上

(SDGsの目標 3、4、8、10)

拡充

- 部活動指導員の積極的な活用と部活動の地域移行に向けて人材の育成・確保
- 学力向上推進アドバイザーを各学校へ派遣した授業改善
- 「統合型校務支援システム」の活用により教職員が子どもと向き合う時間を確保

週1回の定時退勤日と、平日1日週末1日のノー部活デーを設定しています



学校の組織力の強化

(SDGsの目標 4、5、8、10、16、17)

- 年2回「多可町いじめ防止対策検証委員会」を開催し、学校及び教育委員会の取組を検証改善
- 不登校の子どもたちの社会的自立を促すため中学校に不登校支援員（スクールラブ）の配置
- 1人1台コンピュータを活かしたオンラインによる授業配信
- 学校評価の公表と保護者や地域の意見を取り入れた学校運営



修学環境の整備・充実

(SDGsの目標 1、2、6、7、8、9、12)

NEW

- 全学校施設の現況調査を踏まえ、計画的な施設の改修（中町南小学校と杉原谷小学校で洋式トイレへの改修）

NEW

- 1人1台コンピュータの破損等に備え動産保険に加入

拡充

- 学校にG I G Aスクールサポーターの配置

拡充

- 就学援助家庭を対象に年額14,000円の通信費給付
- 高等学校に進学する子どものうち、経済的理由で修学困難な子どもに月額5,000円を給付



少子化に対応した新しい教育体制の整備充実

(SDGsの目標 4、11、16、17)

NEW

- 「多可町地域の学校教育のあり方を考える会」の答申を受け、中学校統合に向けた「第2次多可町学校規模適正化基本計画」の策定と、「多可町統合中学校開校準備委員会」の設置

家庭と地域による学校と連携した教育の推進

(SDGsの目標 4、11、16、17)

- 子ども見守りサポート隊との連携やネット見守り活動を実践
- 町内全小学校でコミュニティ・スクールを組織し、地域とともにある学校づくりを推進

社会教育の充実

子ども向け社会教育事業の充実

(SDGsの目標 3、4、5、9、11、15、17)



- ・ 町内外の団体等と連携し、STEAM教育（注2）や木育に取り組む「土曜チャレンジ学習」の推進
- ・ 「多可町播州歌舞伎クラブ」や「カブキッズたか」など郷土の伝統文化の継承
- ・ WEB展示により「敬老の日発祥の町多可町第33回全国おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展」を全国へ発信

注2：STEAM教育とは、STEM（Science, Technology, Engineering, Mathematics）に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で（Art）を定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科等横断的な学習を取り入れた教育



図書館の充実

(SDGsの目標 3、4、11、17)



- ・ マイナンバーカードと連携した図書館システムの導入
- ・ 出前図書館等で、子どもたちの読書活動を支援
- ・ 地域づくりの情報発信基地や知の拠点として暮らしに役立つ図書館
- ・ 「多可町図書館基本計画」に基づく住民サービスの向上



那珂ふれあい館の充実と文化財保護の推進

(SDGsの目標 3、4、11、17)



- ・ 4年計画で「多可町文化財保存活用地域計画」を策定
- ・ 「おもしろ歴史セミナー」や出前講座で多可町の歴史文化に触れる機会づくり



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年までに達成を目指す国際目標

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称であり、一般的に「持続可能な開発目標」と訳されています。よりよい世界を実現するために、2030年までに達成を目指す国際目標のことです。これは、2015年にニューヨーク国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」で提案されました。SDGsには、全部で17の目標があります。それぞれの目標を達成することで、すべての人にとって生きやすい世の中、暮らしやすい環境が実現するとされています。

それぞれの主要施策には、目標値を設けています。詳しくは、令和4年度多可町教育方針及び主要施策をご覧ください。QRコードを読み取ると全文を見ることができます。



令和4年度 小・中学校児童生徒クラス数<R4.4.1 現在>

()数字は、学級数、特別支援学級数

学校名	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
中町南小学校	35 (1)	37 (1)	41 (2)	34 (1)	48 (2)	50 (2)	245 (9) + (4)
中町北小学校	12 (1)	26 (1)	27 (1)	28 (1)	26 (1)	23 (1)	142 (6) + (2)
松井小学校	19 (1)	17 (1)	21 (1)	31 (1)	25 (1)	23 (1)	136 (6) + (4)
杉原谷小学校	20 (1)	14 (1)	20 (1)	20 (1)	26 (1)	12 (1)	112 (6) + (2)
八千代小学校	25 (1)	33 (1)	29 (1)	31 (1)	40 (1)	30 (1)	188 (6) + (2)
合計	111 (5)	127 (5)	138 (6)	144 (5)	165 (6)	138 (6)	823 (33) + (14)
学校名	1学年	2学年	3学年	合計			
中町中学校	64 (2)	73 (2)	58 (2)	195 (6) + (2)			
加美中学校	50 (2)	37 (2)	52 (2)	139 (6) + (2)			
八千代中学校	45 (2)	40 (2)	43 (2)	128 (6) + (3)			
合計	159 (6)	150 (6)	153 (6)	462 (18) + (7)			



令和3年3月
第2次多可町教育ビジョン
(多可町教育振興計画) 策定



詳しくは多可町ホームページまで⇒<https://www.town.taka.lg.jp/>

～明日の多可町を担う心豊かな人づくり～
をめざして

多可町で子育てしてよかった、多可町に住んでよかったと実感できるように、多可町の教育・保育・生涯学習のさらなる発展に向け、これからの多可町教育の目指すべき姿を示しました。

ひとりで悩まないで、まず相談



多可っ子悩み相談	いじめ・不登校・友人関係・進路など様々な悩み相談	0795-32-3424	9:00～17:00 月～金 祝日・12/28～1/3 を除く
家庭児童相談	育児、子育ての不安・子どもの養育環境・家庭内の様々な問題や虐待の相談	0795-32-2385	
ひょうごっ子悩み相談	子どもSOSダイヤル	0120-0-78310	365日 24時間
児童虐待相談	児童相談所全国共通ダイヤル	189	365日 24時間
ひきこもり電話相談 (兵庫県ひきこもり 総合支援センター)	ひきこもりについての相談	078-262-8050	9:00～17:00 月～金 祝日・12/28～1/3 を除く